

(1)生徒の体力の現状

＜男子＞
○2年生では握力、50m走が全国平均を上回っている。
●学校全体では、上体起こし、反復横跳び、ハンドボール投げが全国平均に比べ、どの学年でも大きく下回った。

＜女子＞
○2年生は、50m走、20mシャトルラン、反復横跳びで全国平均を上回った。
●全学年とも握力、ハンドボール投げでは全国平均を下回った。

○2年生男女共に50m走で全国平均を上回った。
●全校では男女共ハンドボール投げは全国平均を下回った。

(2)令和元年度の具体目標の達成状況と課題

○授業において「めあて」、「ふりかえり」を徹底することで、生徒一人一人が課題を意識して授業に取り組むことができたといえる。とくに学習カードの活用により、生徒の「めあて」、「ふりかえり」の意識が高まった。
○食に関する学習では、保健体育科だけでなく、養護教諭や栄養教諭とともに、授業や学級活動、給食の時間などに指導することができた。生活習慣や食生活を見直す機会が多くなり、生徒自ら課題を認識できる活動を継続している。

●柔軟性の向上を目標に、体づくり運動や授業の準備運動で継続した活動を行ったが、授業での取組だけでは運動量や継続性においても効果がある活動とまではいかない。授業における工夫や授業以外の取組も必要であると考える。
●新体力テストの結果を個人の課題解決に結びつける意識づけや取組が十分確保することができなかった。
●持久力向上をめざして取り組んできた校内シャトルランが計画通りに実施できなかった。また、新校舎建設の関係でグラウンドが使用できない期間があり、生徒たちに運動する環境を十分提供できなかった。

(3)令和2年度の取組【対策】

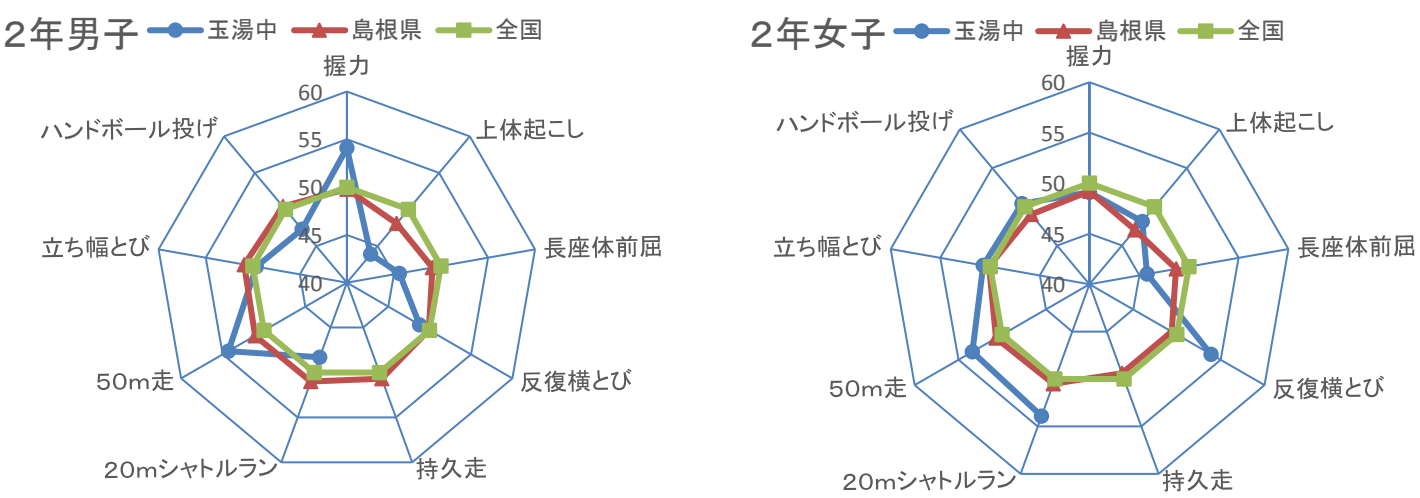
①学校における取組
・これまでの取組の継続ではあるが、授業における「めあて」、「ふりかえり」を徹底することで生徒一人一人が課題をもって授業に参加することに重点を置きたい。
・持久力への取組についても継続していきたい。校内シャトルラン、校内ロードレース大会等全校態勢での取組を維持していく。
・ここ数年の重点課題ととらえている柔軟性の向上について、効果が表れていないので来年度も引き続き取り組んでいきたい。授業での工夫とともに学校全体の活動に位置づけていきたい。

②地域や家庭との連携による取組
・校内ロードレース大会時の広報、ボランティアの協力。
・体育祭でPTA活動と共同し、その取組を広報活動で伝える。

③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
・毎学期に1回、生活習慣ふりかえりシートを用い、自らの食生活や運動量(活動量)についてふりかえり、課題を見つけることができるように指導を継続していく。
・養護教諭と栄養教諭とともに学級活動や給食の時間を通して、健康の保持増進、体力向上につながるバランスの良い食事の摂り方を指導していく。
・夏休みの課題として、「朝食づくりに挑戦」の課題を提出させ、生徒一人一人に食について考えさせる機会を設ける。

調査実施者数(人) 1年(男子29・女子29) 2年(男子24・女子32) 3年(男子33・女子21)

(4)2年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 2年生意識調査の結果

